



# けやきっ子

六栄小学校だより 第40号 令和8年2月19日(木) 文責:久保田 眞二



学校ホームページ  
もご覧ください

## 成長の喜びと深い愛情が伝わった「つなしの会」

2月10日(火)、4年生が10歳の節目を祝う「つなしの会」が行われました。「つなしの会」は「2分の1成人式」とも呼ばれますが、「つなし」という名前には、日本の言葉の面白さが込められています。年齢を数えるとき、「一つ、二つ、三つ…九つ」までは「つ」が付きますが、十歳になると「十(とお)」となり、「つ」が付かなくなります。そこから「つが無くなる=つなし」と呼ばれるようになったそうです。

さて、4年生の子どもたちは、名前の由来や幼い頃の思い出を保護者の方から聞き取り、心のこもった手紙にまとめました。そして、これまで大切に育ててもらったことへの感謝の気持ちや、自分の将来の夢を、一人ひとりが保護者の前で堂々と発表しました。発表を見守る保護者の皆様の表情からは、お子様の成長への喜びと深い愛情が伝わってきました。親への感謝をまっすぐに言葉にし、自分の夢を力強く語る子どもたちの姿に、私自身も胸が熱くなりました。10年の歩みの確かさと、これから広がる未来の輝きを感じる、心温まるひとときとなりました。



会の最後に全員で歌を披露



一人一人の作文発表の様子

## 心も動く季節 今こそ大切にしたい「落ち着いた毎日」

今年度も残すところ、あと約1か月となりました。登校日数にすると、残りはおよそ20日ほどです。

この時期は、進級や進学を前に、子どもたちの心が少しずつ動き始める季節でもあります。期待や不安が入り交じり、気持ちがそわそわしたり、浮き立ったりする姿が見られるのも、毎年この頃の特徴です。その影響からか、室内で大声を出したり、暴れたり、整理整頓が行き届かなかったり、学習や掃除に集中しにくくなる様子が見られることもあります。また、時には子ども同士や地域での小さなトラブルにつながることもあります。

学校では、こうした時期の子どもたちの心の動きを教職員全員で共有し、いつも以上に丁寧な声かけや見守りを行いながら、落ち着いた学校生活が送れるよう指導しています。ぜひご家庭でも、「今は心が揺れやすい時期である」ことを意識していただき、温かく支えていただければと思います。特に、早寝・早起き・朝ごはんといった基本的な生活習慣は、子どもたちの心と体を整える大切な土台です。

残りの一日一日を大切にしながら、子どもたちが気持ちよく今年度を締めくくれるよう、学校・家庭・地域が力を合わせて見守っていきましょう。引き続き、ご理解とご協力をよろしく願います。



## 応援をお願いします、学習発表会

2月27日(金)に学習発表会をします。今年度最後の授業参観日であり、保護者の方には六栄小学校全児童の頑張りを見ていただきたく学習発表会を計画しました。今、子どもたちは学習発表会に向けて練習を頑張っています。自分の子どもさんだけでなく、六栄小学校の全児童の頑張りを見ていただけたら幸いです。応援よろしく願います。